



柏崎海洋センター シーユース雷音

Kashiwazaki Kaiyou Center
Sea Youth Lion



Case2

既設改修における「ZEB Ready」達成に ガスコージェネが貢献

取材・文：深澤 幹夫

雄大な日本海を眼下に見渡す「柏崎海洋センター シーユース雷音」は、柏崎地方の三大民謡の一つである「三階節」の一節に登場する雷を名前の由来としている柏崎市の公共施設である。スポーツ合宿・ビジネス合宿にも利用可能な宿泊施設であり、会食・ランチ・バーベキューなどの食事と入浴も楽しめる。

その柏崎市では、「限りある資源とエネルギーをかしこく使って、持続可能な地域社会を目指します」を基本目標とした「柏崎市地球温暖化対策実行計画」を策定、市民・事業者・行政が一体となって地球温暖化対策に取り組んでいる。

今回は、その取り組みの重点プロジェクトとしての検討をきっかけに、ガスエンジン・コージェネレーション(以下、コージェネ)の導入を含む既設改修により「ZEB Ready」を達成した「柏崎海洋センター シーユース雷音」について紹介する。

■ 施設概要

所在地	新潟県柏崎市西港町12番11号
建物規模	地上3階
構造	鉄筋コンクリート造
面積	延床面積：2,949㎡
開業年月	1997年7月
客室数	33室(宿泊人数：80～100名)

コージェネ導入のポイント

- 1 柏崎市の地球温暖化防止への取り組み
- 2 補助金・ESCO事業活用
- 3 ZEB化改修工事におけるコージェネ導入

ガスエンジン・コージェネ(35kW×2台)



柏崎市では、2008年の温対法改正を受け、2013年3月に「柏崎市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」を策定、「柏崎市第四次総合計画後期基本計画」「第二次柏崎市環境基本計画」の理念をふまえて、先に記述した基本目標と5つの基本方針、28の施策を掲げて地球温暖化対策に取り組んでいた(2017年に改訂実施)。

その重点プロジェクトの一つとして、「柏崎海洋センター」への再生可能エネルギー熱利用複合システム導入に向けた事業化可能性調査」を2014年度に実施した。結果として、事業化には至らなかったが、別に市が推進する省エネ・省CO₂の改修モデル施設に、設備更新時期を迎えていた同施設が合致した。

柏崎市の
地球温暖化防止への
取り組み

